

金銭的・物質的に豊か＝幸せという幻想

大久保 康雄 | OOKUBO YASUO

2月に催すジネンカフェVOL.036のパネリストのおひとり、名古屋大学国際交流協力推進本部特任准教授の坂野尚美先生と打ち合わせるため、名古屋大学へ行ってきた。現在は独立学校法人になっているが、以前国立大学だった名大には私はもちろんいままで一度も足を踏み入れたことはない。こんな機会でもない限り、名大なんて入ることもなかったろう。

坂道が多い丘陵地に建てられているので、昔はさぞや交通の便が悪かったところだったのだろうが、現在は地下鉄の駅もあり、エレベーターがつけられていてアクセスは大変に便利だった。しかし、大学の構内に入る、そこからが大変だった。構内への入り口に、よく公園などの出入りに設けてあるようなU字型をした鉄パイプが互い違いに設けられていて、人が通るスペースしかない。どうしようと思ひ、坂野先生に電話をしたところ迎えの人が来てくれて、その互い違いの鉄パイプを何とかクリアしてやっと名大の構内に潜入することが出来た。

坂野先生との打ち合わせ自体は、予想した通り面白いものだった。さすがに社会学者で心理カウンセラーだけあって、「現代」を見つめる視点がユニークだ。拒食症や過食症とコンビニとの相関関係とか、統合失調症と日照時間の関係とか、どうして現代は心を病む人や、それが高じて自殺する人

が多いのか…。統計的にみると北国の方の人より南国の人たちの方がうつになる率が低いとか、うつにかかるのには個人因子も多少はあるものの、社会的因子がその主因の大半を占めているとか…。いろいろと興味深いお話を伺うことが出来た。

いちいち頷けることで、特に「現代は物質的、金銭的に豊かでない不幸であるといったような錯覚が社会の中にあるのではないか」という指摘には、思わず頷いていた。そこら辺の社会風刺は、私も新作『ムゲンの樹、水のない海』の中に描いている。

物質的に豊かになることは、幸せに暮らせることとは同意語ではない。確かに生活してゆくためには多少のお金は必要だけれど、幸せの定義なんて人それぞれにあってよい筈なのだ。それなのに人は誰もが一応に豊かさを求めて邁進し、人と比べて「あの人よりも私は貧乏だから不幸だ」とか、「自分はだめな人間なのだ」と思い込んだりする。自分の人生をただ生きればよいのだ。豊かさ＝幸せという幻想に惑わされてはいけないのだ。

ここでちょっと宣伝を。私の『ムゲンの樹、水のない海』を、シンガーソングライターのふるもとゆうこさんと、その音楽仲間でギタリストの山田さん、くれよんBOXの有山美波さんとのユニッ

"縁側"に行きたくなる
インフォメーションペーパー

ENGAWA NEWS

ENGAWA NEWS 2010年1月号
発行：NPO法人まちの縁側育み隊
〒461-0002 名古屋市東区代官町29-18
柴田ビル1階 まちの縁側MOMO内
TEL&FAX：052-936-1717
E-mail：info@engawa.ne.jp



パッケージは現在製作中

トにより、手づくりの朗読CDとして制作することになった。手づくりといっても山田さんのスタジオを借り、オリジナルの主題歌や各章ごとのBGMや効果音、ブックレットには何枚かのイメージ画なども入った本格的なもの。はじめは200部限定で制作し、手売りで細々と販売する予定。そしてこのユニット【宇宙病院】は、今後も様々な創造的活動をしてゆきたいと思っています。

■今月の理事

大久保 康雄 (オオクボヤスオ)
まちの縁側育み隊の理事であり、紙芝居集団・風穴一座座長を務めるなど、多種多様な顔をもつチェアウォーカー

まちの会所
MACHI no KAISHO



まちの会所
愛知県名古屋市中区錦2-6-13
長者町糸びすビルPart3・2階
アクセス
名古屋地下鉄桜通線丸の内駅下車5番出口
より徒歩3分
問い合わせ先
担当：名畑
TEL&FAX：052-201-9878
E-Mail：info@engawa.ne.jp
錦二丁目まちづくりHP：
http://www.kin2.bpl.jp/index.html

■新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。全体世界のホコロビがあろうとも、まちの縁側のいきのいい動きがそれを繕い、さらに余りしみと美を再創造できるようなエンガワ・デザインの経験をいっそう広く深く紡ぎつづけたい。

新年にあたり、会員内外のみなさん方に、まちの縁側MOMOと錦二丁目まちの会所活動にいっそうの支援と励ましをいただけるようお願い申し上げます。

2010年1月1日
NPO法人まちの縁側育くみ隊
代表理事 延藤安弘

■まちづくり人参加募集

まちの会所は愛知産業大学・錦二丁目まちづくり連絡協議会・まちの縁側育くみ隊が協働して2008年5月より運営しています。

場所としては近隣の大学を中心とした学生の発表や展示、議論の場や、地域住民のまちづくりの話し合いができる場になっている。またイベントとしては、あいちトリエンナーレのプレイベントにてまちタンケン&布絵ワークショップと題して、大人と子どもがまちを歩き未来のまちをイメージし、二丁目長者町の元である繊維＝布を使って表現を行い、まちとアートをつなぐ活動を行っている。

錦二丁目は地域と関わりながら地元発意でまちづくりマスタープランの作成を進めています。関心のある方は一度ご連絡ください。

OPEN: 月・水・金13:00~17:00
記入無
錦二丁目関連
まちの縁側育くみ隊
延藤安弘個人

1月

月	火	水	木	金	土	日
[]内の数字は時間を表します				1	2	3
[17:30] 錦二長者町新年会まちづくりマスタープラン幻燈会	E[10:50]愛知淑徳大学Lec.				E[17:00]ASU延藤小杉研ゼミ	
4	5	6	7	8	9	10
	E[10:50]愛知淑徳大学Lec.		E名古屋→台北台湾大学	E台湾大学	E台湾大学	
11	12	13	14	15	16	17
E台湾大学台北→名古屋	E[10:50]愛知淑徳大学Lec. [18:00]錦二まつり委員会		E[11:00]岐阜・柳川WS [18:00]錦二・理事会	E[18:30]小牧市大城児童館幻燈会	E[14:00]岡崎市藤川宿幻燈会 E[17:00]ASU延藤小杉研ゼミ	E福井県若狭町集落計画
18	19	20	21	22	23	24
E若狭→名古屋	E[10:50]愛知淑徳大学Lec.			E[13:30]岐阜・市民協働WS	EASU入試	
25	26	27	28	29	30	31

祈りの音楽と、希望の音楽



先日、昨年のジネンカフェ拡大版にお招きして以来親しくしていただいているシンガーソングライターのふるもとゆうこさんに誘われ、ふるもとさんが参加されている〈インド音楽研究会〉の忘年会に参加してきた。会場は、覚王山の〈スペース・G〉という民家を改装した集会所みtainなところ。当然あがりがまちなどもあり、バリアフリー対応にはなっていない。しかし、床はフローリングでそれなりの補強もされているらしく、主催者側のご好意で電動車いすのまま中に入れてもらった。



忘年会とは言っても、そこは〈研究会〉だけあり、まずは一時間ほどインド音楽の演奏や歌が披露された。インド音楽を聴くのははじめてではない。以前、桜の頃にやはりふるもとさんに誘われて友人と今池のライブハウスで聴いている。私たちが聴きなれた西洋音楽とは異なり、独特な調べだ。音の高低やリズムはあるのだが、それがあまりにもゆるやかなために一本調子のように聴こえる。そしてなによりも一曲が長いのである。実際に見たことはないが、それは生きとしいけるものの生や死も、人々の喜怒哀楽も、この世の汚濁や清浄、それらのすべてを飲み込んで滔々と流れるガンジス河にも似ている。言ってみればインドの音楽は〈祈りの音楽〉ともいえるだろう。

インド音楽を聴きながら、私はMOMOの『歩こう！ 文化のみち』のモンゴル企画で聴いたモンゴルの音楽を思い出していた。モンゴルの音楽は、目を瞑って聴いていると大草原を疾走する馬や、そこを渡ってゆく風のイメージが脳裏に浮かんでくる。インド音楽が〈祈りの音楽〉ならば、モンゴルのそれは〈希望の音楽〉と言えるのではないだろうか？



大久保康雄
(オオクボヤスオ)
まちの縁側育み隊の理事であり、紙芝居集団・風穴一座座長を務めるなど、多種多様な顔をもつ
チェアウォーカー



人と人との縁を 紡いで福となす —MOMOは進化形まちの縁側

1996年の夏、その榿木館の前をたまたま歩いていた延藤節子さんは、導かれるように榿木館の中へと入り、店子さんのひとりでもあった高橋博久先生が書かれた「番茶の家綺談」を読んだ。節子さんにとって「番茶の家」とは、家の近所でいつも親しくしている楚々としていながらも凜とした気品をもった高齢の女性からよく聴いていた単語であった。その高齢の女性こそ、田中八重さんであったのだ。

節子さんは偶然の一致に驚き、店子さんたちに田中八重さんがまだご健在であること。自分も八重さんからお話を訊いて「番茶の家」の現代版に憧れている等々、想いのたけを語った。その後、縁あって東区に転居することになった節子さんは、榿木館に出入りするようになり、オーガニックカフェ『自由空間』の兼松はるみさんからの誘いもあって〈マップづくり〉や〈絵本まちづくり探検幻燈会〉などに参加し、まちづくりに興味をもつようになった。そしていよいよ榿木館で「番茶の家」をスタートすることになり、節子さんもそのお手伝いをする事となった。人生とは何と不思議なものであろうか？

何にしてもはじまりがあれば終わりがあり、終わりがあるから新しい物事をはじめることができるのである。当時の榿木館の大家さんと、店子さんたちの契約期間があと一年で切れることになった

年、【榿木館育くみ隊】は発足した。まちの中にありながら、母親の懐に抱かれた幼児の記憶にも似て心安らげる榿木館。その空間を使って1年間様々な企画が行われた。節子さんはその活動の中心的な役割を担うようになっていた。1年間を終えてこの榿木館という場所の魅力と、人とまちとを繋ぐ「つきいち縁側」の活動を次ぎなる場所のまちづくりに活かして行くという趣旨の下、2003年に【NPO法人まちの縁側育くみ隊】が設立され、節子さんはそのプロジェクトのひとつ、〈まちの縁側MOMO〉を主宰することになる。

平田町の交差点から東に入ったところにあった以前のMOMOは、使われていなかった旧い歯科医院を榿木館の店子さんだった建築設計事務所が借りた物件で、その一部分を間借りしていたという関係もあって、まちの縁側を名乗るには空間的な限界があった。

桜通を一本北に入った、名古屋市で一番古いコミュニティ道路沿いにある現在のMOMOは、窓が多く光がサンサンと降り注ぐ開放的な空間と、狭い道路を挟んですぐ隣に〈どんぐりひろば〉があり、前の道路が学区の子どもたちの通学路という環境的にも恵まれた立地条件にあるため、狭いながらも楽しい縁側になっている。ご近所のおじさんがふらりと訪ねてきたり、若いお母さんたちの待ち合わせや打ち合わせの場所になったり、毎日のように通ってくる青年がいたり、世代を超えた交流の場としての催し物の時などは人・人・人であふれ返っている。

しかし、現在でこそ地域に受け入れられ、地域と共に育まれつ

るMOMOだが、新しく引っ越してきた当初はやはり地域の人たちに警戒されて訪れる人もまばらであった。ところがイベントを通してMOMOのことを理解してもらったり、節子さんも地域のイベントに参加しているうちに〈MOMO〉と〈地域〉相互が理解しあって、いまでは完全に地域になくはない〈地域のまちの縁側〉としての役割が定着してきている。昨年春からはじまった〈つどいの広場・ハーモニー〉や、なかなか昼間に来られない男性陣のための夜のサロン〈MOMO屋〉など、それぞれの年代層やニーズに応じたお楽しみ会も盛んである。

まちの縁側MOMOは、延藤節子さんというひとりの女性の、夢の結晶体である。夢をみることは誰にでも出来るが、その夢が叶うかどうかは本人にも解らない。人は、夢を叶えたその人を祝福し、その夢が素晴らしいと褒め称える。しかし、本来褒め称えなければならぬのは、夢を持ち続けてその夢が叶うように努力し、足掻き、苦しんだその人自身と、意識の持ち方なのだ。

延藤節子さんは、人と人との縁を紡いで新しい福を呼ぶ達人でもある。今後、MOMOを舞台にして、どんな人と人が繋がり、新たな結晶体が生まれるのだろうか？ それを見るのが楽しみでもある。

ジネンカフェvol.034

日時：2009年12月5日(土)
14:00~16:00

テーマ：人と人との縁を紡いで福となす
—MOMOは進化形まちの縁側

ゲスト：延藤節子さん(まちの縁側MOMO主宰)

参加費：300円(カフェ代別途)

場所：くれよんBOX

主催・共催：NPO法人まちの縁側育くみ隊
かたひらかたろう
くれよんBOX

ジネンカフェ vol.035



1月17日(日)

11:00 ~ 15:30

ゲストのお話
の後に新年会
(豚鍋パーティ)
を企画してい
ます。

差し入れ歓迎!
飲み物は各自
ご持参ください

となりの野生生物こんにちは

私たちの周りは普段気にとめない自然にかこまれています。足元に咲く、小さな花の形一つにも、永い歴史を感じさせる生き残り作戦を見いだすことができますが…。やはり身近といえば、雑草やカラス、ネコにハチ等等、ペットか忌み嫌われる生きもの達ではないでしょうか。しかし彼らの視点でみると、どうでしょう? 同じ地域で暮らす生きもの同士、どのようにつき合えばよいのか、一緒に考えてみませんか?

ゲスト

河野 慶子

NPO法人

生態教育センター

1979年生まれ神奈川県、川崎の京浜工業地帯で育ちました。人と野生生物の軋轢に感心をもち、まずは相手を知るところから!と、野生生物を、追いかけて回してきました。今は、NPO法人生態教育センターにて身近な野生生物を紹介する仕事をしています。

参加費：600円 鍋パーティ代含む

場所：くれよんBOX

地下鉄御器所駅8番出口
(エレベーター)より徒歩5分。

〒466 0012

名古屋市昭和区小桜町3-11羽ね屋敷1階

Tel 052-733-5955

<http://www.crayon-box.jp/map.htm>



～お問い合わせ・申し込み先～

NPO法人 まちの縁側育くみ隊
名古屋市東区代官町29 18

柴田ビル1階 まちの縁側MOMO内

Tel/Fax 052 936 1717

E-mail ookubo@engawa.ne.jp

主催・共催 NPO法人まちの縁側育くみ隊、かたひらかたろう、くれよんBOX

まちの縁側MOMOの「おいしい、たのしい、あったかい」ダンランの数々。
ぜひ、ご参加ください。

**山田郁子さんの伴奏のもと、
さあ歌いましょう！**



童謡からシャンソンまでおなかの
底から声を出して歌いましょう
日 時：1月12日(火)
10:30～11:30
参加費：500円(お茶代込)

手作り楽しもう会



1月は「ほっこりティーコゼ(ティ
ーポットカバー)」を作ります。
日 時：1月15、22、29日
10:00～12:00
参加費：700円(お茶代込)
+材料費500円

ダンボール工作

東区多世代の出会いと交流の居場所づくり事業



1月はパラパラマンガを作ります！
日 時：1月21日(木)
15:30～17:30
講 師：図画工作むらた
材料費：500円

ごま食堂の月イチ食堂

第2土曜日の夜は・・・



「旬の野菜・豆・雑穀を使った
ビストロ料理」
日 時：1月9日(土)
18:00～22:00
料 金：1,500円(別途ドリンク代)

食楽だんらんもも屋

第3土曜日の夜は・・・



日 時：1月16日(土)
19:00～22:00
参加費：1品(お酒or食べ物)持寄り
※飛入り参加は500円
※お酒は有料で用意して
います

お食事とお菓子MIL

第4土曜日のランチは・・・



「野菜を中心とした
月毎の薬膳ランチ」
日 時：1月23日(土)
11:00～16:00
料 金：800円
1日20食限定

つどいの広場♪ハーモニー♪

平成21年度なごやつどいの広場助成事業



0～3歳の子どもさんと親ごさんで参加していただけます
日 時：月・水・木 10:30～12:30
※11:30よりランチタイム
※お弁当は持参も注文もOK(注文は1個500円)
※祝日はお休みさせていただきます
参加費：300円/1回(保険料含む)

パソコンなんでもコーナー



パソコン・インターネットに関する簡単な質問・相談コーナー!!
日 時：毎週水曜日・金曜日
14:00～17:00
講 師：堀靖郎さん
料 金：500円(お茶代込)

《ほっこり冬を楽しもう展
—陶器と苔玉—》

冬を彩る暮らしの陶器たちと苔玉
の展示・販売

日 時：1月12日(火)
～1月29日(金)

陶 器：中尾 彰秀さん
苔 玉：森内 きく子さん

↓前回、クリスマスアドベント展の様子



新春特別企画

《新春子ども達人芸》

新しい年のはじめはお笑いか
ら…小・中学生による落語・けん
玉・こま・ディアボロ（中国コ
マ）のこども達人芸です。

落語の達人：田中太一朗くん(小三)
田中啓二郎くん(小一)

けん玉の達人：渡辺竜典くん(小四)

こまの達人(KBP)：

東 哲平くん(小六)

渡辺大典くん(中一)

渡邊啓太くん(中一)

※KBPとは、コマバカトリオの頭
文字です。

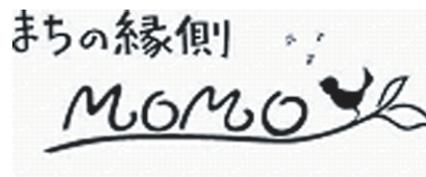
日 時：1月16日(土)
10:30～12:00

参加費：子ども 100円
大人 500円

《まちの縁側MOMO

年末年始のお休みのご案内》

まちの縁側MOMOは、新年2010
年1月12(火)よりオープンさせてい
たきます。



まちの縁側MOMO

愛知県名古屋市東区代官町29-18
柴田ビル1階

アクセス

名古屋地下鉄桜通線車道駅下車①番出口よ
り徒歩10分

名古屋地下鉄東山線新栄町駅下車②番出口
より徒歩10分

問い合わせ先

担当：延藤節子

TEL&FAX：052-936-1717

E-Mail：momo@engawa.ne.jp

1月

OPEN: 火～金 13:00～17:00

OPEN: 土・日 イベント開催日

	月	火	水	木	金	土	日
[]内の数字は 時間を表します	ほっこり冬を楽しもう展—陶器と苔玉— 1月12日(火)～1月29日(金)				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	
			[10:30] つどいの広場♪		[18:00] ごま食堂		
11	[10:30] 山田郁子 さん伴奏のもとに さあ歌いましょう!	[10:30] つどいの広場♪ [14:00] パソコンコーナー	[10:30] つどいの広場♪	[10:00] 手作り楽しもう会 [14:00] パソコンコーナー	[10:30] 新春子ども達人芸 [19:00] もも屋	16	17
[10:30] つどいの広場♪		[10:30] つどいの広場♪ [14:00] パソコンコーナー	[10:30] つどいの広場♪ [15:00] ダンボール工作	[10:00] 手作り楽しもう会 [14:00] パソコンコーナー	[11:00] MIL・Cafe	23	24
[10:30] つどいの広場♪ 「エプロン シアター」		[10:30] つどいの広場♪ [14:00] パソコンコーナー	[10:30] つどいの広場♪	[10:00] 手作り楽しもう会 [14:00] パソコンコーナー		30	31
25	26	27	28	29			

"縁側"に行きたくなる インフォメーションペーパー ENGAWA NEWS

ENGAWA NEWS 2010年1月号
発行：NPO法人まちの縁側育くみ隊
〒461-0002 名古屋市東区代官町29-18
柴田ビル1階 まちの縁側MOMO内
TEL&FAX：052-936-1717
E-mail：info@engawa.ne.jp

まちの縁側MOMOの日常
Daily life of MOMO 

今年もよろしくおねがいします。

新年、あけましておめでとうございます。

今年も「まちの縁側MOMO」がみなさまにとって心安らぐ居場所であり
ますようスタッフ一同力を合わせて頑張ります。みなさまの温かいご支援
をよろしくお願いいたします。



「たかおか福祉デー」出店参加

12月12日土曜日、「たかおか福祉デー」に出店参加しました。

午前10時。駐車場でオープニングでは2階の窓にMOMOの垂れ幕が外に写ってしまいました。

その垂れ幕の…後ろ側では、綿菓子や、コサージュなどの販売を行いました。

3階では、板取りからNPO木つつ木倶楽部の須田さんに、「焼

きペン体験」のワークショップをお願いしました。

かたどったヒノキの板に鉛筆で下絵を描き、その上を焼きペンでなぞり焼き色をつけます。ときおり焼きつくにおいが創作魂(?)を駆り立てました。

そこへ、特別ゲストはち丸くんの登場に「かわいい」なんてね。

今日の出会いを大切に。みなさん、ありがとうございました。

楽しい食事をご一緒しませんか

昨年2009年を表す漢字は

「新」でした。新政権発足、新型インフルエンザ、裁判員制度スタートなど、「新」にまつわる出来事が記憶に残ります。

昨年はMOMOでも食を通じての交流を目的とした新しい企画を始めました。「ごま食堂」「食楽だんらんMOMO屋」「お食事とお菓子MIL」。「食楽だんらんMOMO屋」は1品持ち寄りでもなたでも参加できます。ちょっと大人の楽しい夜を過ごしませんか。

「ごま食堂」と「MIL」は、月に1度MOMOをお貸しして若い女性がお店を営業しています。将来自分のお店を持てたらという夢に向かっていろいろ工夫をしながらのチャレンジですが、みなさまにとっても好評です。



MIL



ごま食堂

それぞれに雰囲気も違いますが、どれもゆったりとお食事を楽しんでいただける事請け合いですよ。